



二子玉川ライズに続く国内2番目のゴールド認証取得 南町田グランベリーパーク「LEED NC(新築部門)」「LEED ND(まちづくり部門)」で 駅施設を含む開発では国内初のゴールド認証を取得！

町田市、東急株式会社、東急電鉄株式会社は、2019年11月にまちびらきを迎えた「南町田グランベリーパーク」のうち約15haの区域(以下、「申請エリア」)を対象として、国際的な環境認証制度LEED®(Leadership in Energy and Environmental Design)の取得に取り組み、2019年1月の「LEED ND(まちづくり部門)」ゴールド予備認証の取得に続き、駅舎部分については本年6月22日に「LEED NC(新築部門)」のゴールド認証を、申請エリアについては7月22日に「LEED ND(まちづくり部門)」のゴールド認証を取得しました。

駅舎建築物としてのゴールド認証の取得、駅舎を含む開発エリアのゴールド認証の取得ともに、国内初です。



▲LEEDゴールド認証ロゴ※

今回、「LEED NC」では、まちの高揚感を感じられる開放的な駅舎を実現しながら、効率的な雨水の再利用を図った点や照明計画においてエネルギー効率化を図った点が評価されました。「LEED ND」では、シームレスなまちの構造や、エリア全体で取り組んだグリーンインフラを生かしたランドスケープデザインが評価されました。

「南町田グランベリーパーク」は、田園都市線「南町田グランベリーパーク駅」(2019年10月1日に「南町田駅」から改称)南側に広がる鶴間公園と、2017年2月に閉館したグランベリーモール跡地を中心とする約22haのエリアで、官民が連携し、都市基盤・商業施設・都市公園・駅などを一体的に再整備・再構築し、自然と賑わいが融合したパークライフを満喫できる「新しい暮らしの拠点」を創り出していくまちづくりプロジェクトが進行しています。

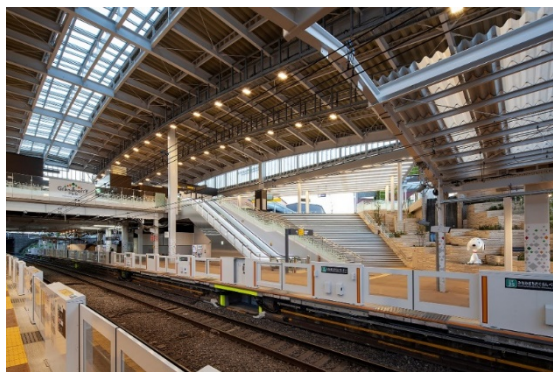
それぞれの主な評価ポイントは以下のとおりです。

LEED NCの主な評価ポイント

- 旅客トイレ洗浄水への雨水再利用や大容量の雨水貯留槽設置による雨水排水計画
- LED照明導入による省エネルギーの取り組み
- 建設時の廃材リサイクル率約70%達成

LEED NDの主な評価ポイント

- 歩行者ネットワークの整備による、自然と賑わいを感じながら回遊できるウォーカブルなまちづくり
- グリーンインフラを生かしたランドスケープデザイン



▲LEED NCを取得した「南町田グランベリーパーク駅」

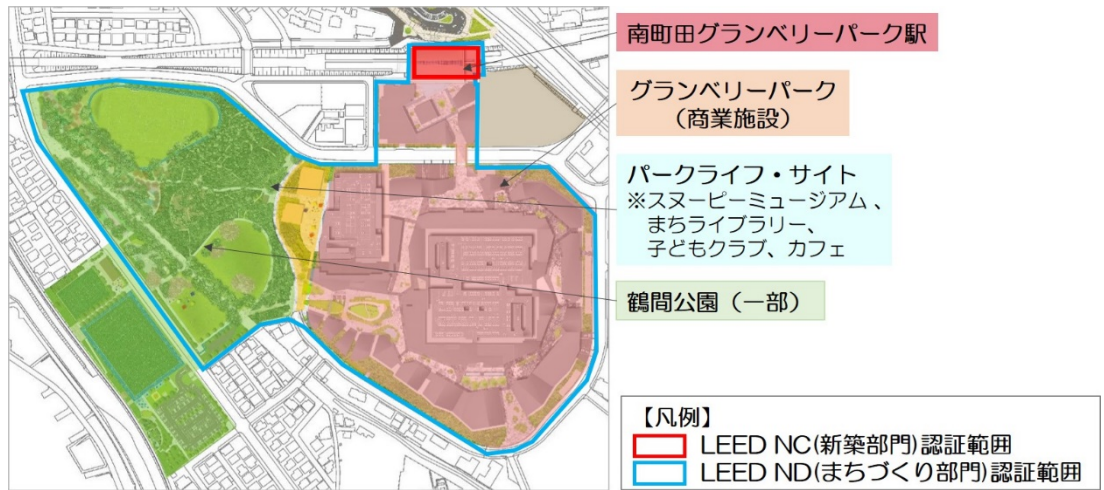


▲シームレスにまちをつなぐパークライフ・サイト通路

※米国グリーンビルディング協会(USGBC)が提供するLEED®は、高性能のグリーンビルディングの設計、建設、維持管理に貢献する評価・認証プログラムです。LEED®およびそのロゴはUSGBCの登録商標であり、使用には許可が必要です。

【別紙】

1. LEED認証範囲



2. 評価された取組事例

2-1. LEED NC(新築部門)

■環境に対する駅構内の取り組み

大階段下に雨水貯留施設を設け、雨水が下水へ流出するのを一時的に抑えています。また、雨水貯留施設に溜まった雨水をろ過し、旅客トイレの洗浄水として再利用を行っています。また、工事中に発生する廃材はリサイクルをして、リサイクル率約70%を達成しました。そのほか、省エネルギー化のためにLED照明を導入するとともに、植栽帯には高効率の灌水設備を導入し節水を図っています。



2-2. LEED ND(まちづくり部門)

■歩行者ネットワークの整備によるウォカブルなまちづくり

商業施設と鶴間公園の間に位置していた車道(南1604号線の一部)を再配置し、車道(南2328号線)を新設。商業施設と公園の間に歩行者空間を整備することで、商業施設と公園をシームレスに繋ぎ、歩車分離されたウォカブルなまちへ再編しました。



▶(左)従前の南1604号線



▶(右)商業施設と公園をつなぐ歩行者空間

■グリーンインフラを生かしたランドスケープデザイン

調整池や雨水貯留槽などの従来型の雨水流出抑制策に加え、自然環境が有する機能を活用するグリーンインフラを採用。敷地周辺を囲むように石を敷き詰めた隙間の多い溝状の「雨のみち:バイオスウェル」と、くぼ地状の植栽帯である「雨のにわ:レインガーデン」をランドスケープのデザインへ取り込みました。



▲雨のみち:バイオスウェル



▲雨のにわ:レインガーデン

3. LEED認証について

LEED®(Leadership in Energy and Environmental Design)とは、米国グリーンビルディング協会が所管する環境性能評価指標のことであり、環境配慮型の建物や敷地利用を評価対象とし、環境性能を様々な視点から評価することで、エネルギー効率にすぐれ、持続可能な建築物を普及することを目的としています。LEEDには、「BD+C(建築設計および建設)」「ID+C(インテリア設計および建設)」「O+M(既存ビルの運用とメンテナンス)」「ND(近隣開発)」など6つの評価分野があり、世界全体で8万を超えるプロジェクトが認証を取得しています。

「LEED ND(まちづくり部門)」は3つの主要評価指標、「LEED NC(新築部門)」は5つの主要評価指標があり、各指標の合計値で評価され、得点に応じて上から、プラチナ、ゴールド、シルバー、サーティファイドの4つのレベルで評価されます。

評価分野	評価指標
ND	①スマートな立地選択と周辺とのつながり ②近隣街区のパターンとデザイン ③グリーンなインフラと建物
NC	①持続可能な敷地 ②水の効率的利用 ③エネルギーと大気 ④材料と資源 ⑤室内環境

(参考)「南町田グランベリーパーク」の概要



- ・まち名称 「南町田グランベリーパーク(Minami-machida Grandberry Park)」
- ・敷地面積 約22ha
- ・交通 田園都市線南町田グランベリーパーク駅直結 / 東名高速道路横浜町田ICから約1分
- ・開業日 2019年11月13日
- ・南町田拠点創出まちづくりプロジェクトホームページ <http://minami-machida.town>
※商業施設名称は「グランベリーパーク(Grandberry Park)」

・そのほかの受賞歴

南町田拠点創出まちづくりプロジェクトのエリア内、「南町田グランベリーパーク地区」が、令和2年度都市景観大賞「都市空間部門」において、大賞にあたる国土交通大臣賞を受賞しました。都市景観大賞は、平成3年度から「都市景観100選」として始まった、まちづくり分野における由緒ある賞で、このうち、「都市空間部門」の選定対象は、公共的空間と建物などが一体となって、良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用された地区と規定されています。本プロジェクトの、官民一体で取り組んだシームレスなまちの構造と、質の高い空間整備が高く評価され、大賞受賞にいたしました。

※国土交通省による記者発表(2020年6月11日「令和2年度「都市景観大賞」各賞の選定～良好な景観に資する地区・活動について、特に優れたものを表彰～」)

https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000343.html

以 上